

令和8年度 教 育 計 画 (案)						学校番号 1	
四国中央市立川之江小学校							
校長名	神野 茂	学級数	17 (5)	児 童 生徒数	377	教職員数	28

令和8年度 川之江小学校グランドデザイン

心豊かでたくましく生きる子を育てる —— 自立 <いのち> 共生 ——

みんなが安心して学べる学校

— 明日も通いたい 通わせたい学校 —

考える子 学び合う喜び・楽しさ

- 1 本物と出会う体験活動
- 2 ICTを効果的に活用した協働的な学びの充実
- 3 豊かな表現力の育成

やさしい子 つながる喜び・楽しさ

- 1 仲間づくりの充実
- 2 あいさつ・ボランティア活動の充実
- 3 自己指導力の育成

元気な子 熱中する喜び・楽しさ

- 1 体力づくりの推進
- 2 食育の推進
- 3 学習規律の徹底と生活習慣づくり

伝統の教育理念 「なかよし」
人となかよく 自分となかよく 自然となかよく

学校運営協議会
いつも子どもがど真ん中
教育の質向上 命を守る 業務改善

学校・家庭・地域

愛情で包み込み 「いのち」を育む家庭

- よい習慣の形成・定着 (生活・学習・運動・食育)
- デジタル・シティズンシップ教育の推進
- 学校行事への積極的な参加
- PTA活動・地域学校協働活動への協力

みんなが 愛顔に！

子どもの「いのち」を守り、 夢を支える地域

- 豊かな体験活動・交流活動へのサポートによるふるさとの伝統継承・発展
- 登下校の見守り
- 健全育成支援
- 防災教育支援
- 中学校等との連携

川之江が
好き

「地域とともにある学校」をめざして

重点目標	1 【やさしい子】の育成のために ～つながる喜び・楽しさ～ (1) 児童一人一人が存在感や所属感を持つことができる温かい学級づくり ・ 自己肯定感や自己有用感、自己指導力の育成 ・ よりよく活動していこうと努力することのすばらしさの体得 (2) 道徳教育、人権・同和教育、特別支援教育の充実 ・ 「いのち」に学び、「いのち」を尊重し合う態度の育成 ・ 生活の中にある差別や偏見をみんなで解決する力の育成 (3) 異年齢集団活動による「なかよし」の充実(きょうだい学級再開) (4) 心と心をつなぐあいさつ、ボランティア活動の推進 2 【考える子】の育成のために ～学び合う喜び・楽しさ～ (1) 本物(人・自然・文化)と出会う体験活動等の充実 ・ 地域で学ぶ、地域に学ぶ、世界で活躍する人に学ぶ場の充実 ・ 東京学芸大学をはじめ教育機関等と連携した新たな学びへの挑戦 (2) 確かな学力の定着と向上 ・ 基礎・基本の定着、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 (3) 読書活動の充実 ・ えがおクラブによる読み聞かせとみきちゃん通帳による読書活動の充実 (4) 豊かな表現力の育成 3 【元気な子】の育成のために ～熱中する喜び・楽しさ～ (1) 健康な心と体づくりの充実 ・ 体力向上に向けた取組の推進 (2) 食育の推進 ・ 家庭を巻き込んだ食育の充実(「早ね・早起き・朝ごはん」運動) (3) 学習規律の徹底と生活習慣づくり ・ 基本的な学習規律の徹底(川小なかよし5か条:あいさつ・はいの返事・はきものそろえ・立腰・だまって行動) 4 【コミュニティ・スクールの推進】 ～いつも子どもがど真ん中～ (1) 地域に開かれた教育課程により、共に教育の質向上を図る。 (2) 見守り活動の充実など、共に子どもの命を守る。 (3) 学校評価を生かした家庭・地域との連携により業務改善を図る。
管理運営	1 人的管理 (1) 温かく活力のある職場づくりと心身の健康管理 (2) 業務改善の推進と若手とベテランが相互に実践的指導力を高め合う人材育成 (3) サービスの厳正と危機管理意識の向上 2 物的管理 (1) 調和と潤いのある教育環境づくり (2) 安全点検の確実な実施による潜在的危険箇所の除去と安全確保 (3) 施設、備品等の計画的な配備と図書館等の有効活用 3 事務的管理 (1) 共同学校事務室による事務処理の適正化・効率化 (2) 校務分掌の明確化・平準化と「報告・連絡・相談」の徹底 (3) 情報管理の徹底と迅速・正確な事務処理
本校教育の特色	・ 教育理念「なかよし」のもと、「いのち」に学び、「いのち」を守り育むために、「やさしさ」を基盤とした人間尊重の教育(共生)の中で、知・徳・体の「調和」のとれた人間教育(自立)を推進する。 ・ ICT環境を活用しながら新しい学びのスタイル確立を目指すとともに、コミュニティ・スクールを推進するなどして「ふるさと川之江」を愛する児童を育てる。